

# 平成23年度事業報告書

学校法人 二松學舎

## 目 次

I	法人の概要	.....	1
II	事業の概要	.....	5
III	財務の概要	.....	11
	監査報告書	.....	18

## I. 法人の概要

### 1. 概要

二松学舎は、明治 10 年に先師中洲三島毅により「漢学塾二松学舎」として創設され、平成 24 年 10 月に創立 135 周年を迎える。建学の精神「己ヲ修メ人ヲ治メ一世ニ有用ナル人物ヲ養成スル」により東洋学の確立と新時代を担う国家有為の人材の育成を目指した。

その後、昭和 3 年には旧制専門学校となり、国語・漢文の教員養成に注力し、「国漢の二松学舎」として東洋の精神文化を基盤とし、人間教育の実践に努めてきた。戦後復興期、昭和 24 年に新制大学に移行、文学部国文学科・中国文学科の単科大学として伝統を堅持し発展、さらに平成 3 年に国際政治経済学部を開設した。一方、昭和 23 年に二松学舎大学附属高等学校が、昭和 44 年に二松学舎大学附属沼南高等学校（現附属柏高等学校）が設置され、平成 23 年 4 月、附属沼南高等学校は附属柏高等学校に校名を変更し、新たに二松学舎大学附属柏中学校を開校した。平成 23 年度現在、設置する学校と学部・学科等の概要は以下のとおりである。

### 2. 所在地

学校法人二松学舎

1 0 2 - 8 3 3 6 東京都千代田区三番町 6 番地 1 6

#### (1) 二松学舎大学

九段キャンパス

1 0 2 - 8 3 3 6 東京都千代田区三番町 6 番地 1 6

柏キャンパス

2 7 7 - 8 5 8 5 千葉県柏市大井 2 5 9 0 番地

#### (2) 二松学舎大学附属高等学校

1 0 2 - 0 0 7 4 東京都千代田区九段南 2 丁目 1 番 3 2 号

#### (3) 二松学舎大学附属柏高等学校

2 7 7 - 0 9 0 2 千葉県柏市大井 2 5 9 0 番地

#### (4) 二松学舎大学附属柏中学校

2 7 7 - 0 9 0 2 千葉県柏市大井 2 5 9 0 番地

### 3. 設置する学校・学部・学科等の概要

#### (1) 二松学舎大学

大学院

文学研究科

国際政治経済学研究科

文学部

国文学科

中国文学科

国際政治経済学部

国際政治経済学科

#### (2) 二松学舎大学附属高等学校

#### (3) 二松学舎大学附属柏高等学校

#### (4) 二松学舎大学附属柏中学校

### 4. 入学定員・学生数等の状況

<大学院>

(単位:人)

研究科	専攻	博士前期課程(修士課程)			博士後期課程(博士課程)		
		入学定員	収容定員	学生数	入学定員	収容定員	学生数
文学研究科	国文学専攻	16	32	23	5	15	10
	中国学専攻	16	32	20	5	15	12
	計	32	64	43	10	30	22
国際政治経済学研究科	国際政治経済学専攻	10	20	9	—	—	—
合計		42	84	52	10	30	22

<学部>

(単位:人)

学部	学科	入学定員	収容定員	学生数
文学部	国文学科	260	1,040	1,333
	中国文学科	140	560	686
	計	400	1,600	2,019
国際政治経済学部	国際政治経済学科	200	800	1,004
合計		600	2,400	3,023

<中学校・高等学校>

(単位:人)

学校名	学科	入学定員	収容定員	生徒数
二松学舎大学附属高等学校	全日制普通科	300	900	695
二松学舎大学附属柏高等学校	全日制普通科	249	747	676
二松学舎大学附属柏中学校	全日制普通科	102	306	78
合計		549	1,647	1,449

(注) 人数は平成23年5月1日現在の値を示す。

5. 役員等・教職員の概要

(1) 役員等・教職員数

- ①役員等 理事 11人 (うち、理事長1人、常任理事2人)  
 監事 2人  
 評議員 24人

②教職員

(単位:人)

教員	二松学舎大学	69
	二松学舎大学附属高等学校	38
	二松学舎大学附属柏高等学校	36
	二松学舎大学附属柏中学校	8
	計	151
職員	二松学舎大学	71
	二松学舎大学附属高等学校	2
	二松学舎大学附属柏高等学校	3
	二松学舎大学附属柏中学校	
	計	76

(注) 人数は平成23年5月1日現在の値を示す。

表中の教員には非常勤教員を含まない。非常勤教員の人数は、二松学舎大学208人、二松学舎大学附属高等学校28人、二松学舎大学附属柏高等学校24人、二松学舎大学附属柏中学校1人で

ある。

(2) 役員

役 職	氏 名
理 事 長	水 戸 英 則
常 任 理 事	小 林 公 雄
常 任 理 事	野 田 恒 雄
常 任 理 事	渡 辺 和 則
理 事	橋 本 喜 一
理 事	木 村 誠 次
理 事	吉 崎 一 衛
理 事	渡 邊 了 好
理 事	五 十 嵐 清
理 事	仲 摩 徹 彌
理 事	千 葉 秀 悦
監 事	石 渡 朝 男
監 事	溝 田 泰 夫

(3) 評議員

氏 名	
橋 本 喜 一	大 地 武 雄
渡 辺 和 則	廣 田 克 己
木 村 誠 次	齊 藤 定 市
小 林 公 雄	小 町 邦 明
渡 邊 了 好	七 五 三 和 男
五 十 嵐 清	水 戸 英 則
菅 原 淳 子	仲 摩 徹 彌
館 野 宏	千 葉 秀 悦
江 藤 茂 博	野 田 恒 雄
神 河 秀 春	小 出 秀 文
島 田 達 彦	洪 澤 健
吉 崎 一 衛	野 島 透

(注) 平成 23 年 9 月 1 日現在

(4) 大学・両附属高等学校の主要役職者

役 職	氏 名
二松学舎大学	
学 長	渡 辺 和 則
副学長	吉 崎 一 衛
大学院文学研究科長	江 藤 茂 博
大学院国際政治経済学研究科長	菅 原 淳 子
文学部長	江 藤 茂 博
国際政治経済学部長	菅 原 淳 子
附属図書館長	吉 崎 一 衛
国際交流センター長	吉 崎 一 衛
情報センター長	山 口 直 孝
教育開発センター長	松 葉 幸 男
キャリアセンター長	田 端 克 至
東アジア学術総合研究所長	佐 藤 進
学務局長	高 野 和 基

役 職	氏 名
二松学舎大学附属高等学校	
校 長	橋 本 喜 一
副校長	椎 木 伸 治
教 頭	椎 木 伸 治
二松学舎大学附属柏高等学校	
校 長	木 村 誠 次
副校長	中 條 保 夫
教 頭	中 條 保 夫
二松学舎大学附属柏中学校	
校 長	木 村 誠 次
副校長	長 谷 川 茂 樹
教 頭	長 谷 川 茂 樹

(注) 平成 23 年 4 月 1 日現在

(5) 事務組織の主要役職者

役 職	氏 名
二松学舎大学	
事務局長	小 林 公 雄
総務・人事部長	五十嵐 清
総務・人事部付部長	小 町 邦 明
企画・財務部長	野 田 恒 雄
教学事務部長	井 上 和 男
柏事務部長	高 柳 幸 雄
附属図書館事務部長	井 上 和 男
キャリアセンター事務部長	神 河 秀 春
附属高等学校	
事務長	菅 原 義 博
附属沼南高等学校	
事務長	大 淵 俊 明

(注) 平成 23 年 4 月 1 日現在

6. 最近の入学者数、在籍者数、納付金、教職員数の状況

(1) 入学者数

(単位:人)

		20年度	21年度	22年度	23年度
大 学	大学院	43	33	30	22
	学部	747	765	807	707
附属高等学校		250	267	241	201
附属柏高等学校		270	250	208	231
附属柏中学校		—	—	—	78
計		1, 310	1, 315	1, 286	1, 239

(2) 在籍者数

(単位:人)

		20年度	21年度	22年度	23年度
大 学	大学院	95	94	83	74
	学部	2, 997	2, 971	3, 017	3, 023
附属高等学校		742	780	743	695
附属柏高等学校		668	698	710	676
附属柏中学校		—	—	—	78
計		4, 502	4, 543	4, 553	4, 546

(3) 1人当り学生生徒等納付金 (平成 23 年度)

(単位:千円)

			入学金	授業料	施設費等	計
大 学	大学院	前期・修士	250	650	100	1, 000
		後期・博士	250	650	70	970
	学部	300	730	200	1, 230	
附属高等学校			200	336	186	722
附属柏高等学校			150	252	253	655
附属柏中学校			200	348	330	878

#### (4) 本務教職員数

(単位:人)

	20年度	21年度	22年度	22年度
大学教員	78	76	74	69
高等学校教員	73	73	74	74
中学校教員	—	—	—	8
事務職員	88	83	81	76
計	239	232	229	227

(注) 各年度5月1日現在

教職員数は、①学生数に対応する基本的な教職員数の維持、②大学院の教育・研究のための適正人員の確保、③教育・研究支援体制の充実を視野に入れた適正人員の確保、④専任職員と補助職員の業務内容などの雇用制度等を基に決定している。

## II. 事業の概要

### 1. 法人（理事会・評議員会など法人事項に係る管理運営）

#### (1) 附属中学校の設置等

千葉県柏市に附属柏中学校の設置が千葉県より認可され、平成23年4月に二松学舎大学附属柏中学校を開校した。また、附属沼南高等学校は平成23年4月より附属柏高等学校に名称変更した。中高一貫教育の実現により校訓の「仁愛・正義・誠実」の具現化をめざす。

#### (2) 東日本大震災での被災学生への支援等

大学では、平成23年3月11日に発生した東日本大震災での被災学生に対し、平成23年度の授業料等の減免措置を実施した。また、教育研究振興資金募金のうち全学的に被災学生支援のための募金活動を行った。

本学では、これまで学生・生徒が安全で快適な環境で学習できるようにするため、全ての校舎等について、耐震化のための改修や建て替えを実施してきており、倒壊や崩壊の危険は無いと認識しているが、改めて建物の耐震診断を行うとともに、危機管理体制を見直し必要な防災対策を講ずることとした。

#### (3) イベント

##### ① 『『論語』の学校 - RONGO ACADEMIA -』(11月19日)

会場：九段校舎中洲記念講堂 参加者：295人

『論語』入門 本学文学部教授 牧角悦子

なぜ今、「ならぬことはならぬ」か -21世紀を生きるこどもたちへ-

会津藩校「日新館」館長 宗像精

近現代中国における『論語』 - 『論語』vs『水滸伝』 - 本学文学部教授 佐藤進

論語素読実践 本学名誉教授 石川忠久

##### ② 大学資料展示室企画展等

###### ■ 九段キャンパス

「二松学舎の創立者 三島中洲毅展」(4月21日～5月21日)

「作家の原稿」(10月5日～31日)

「論語さまざま」(11月15日～12月17日)

「和本に学ぶ」(1月19日～1月30日)

「源平の時代を視る」(2月21日～2月28日)

###### ■ 柏キャンパス (附属図書館)

平成 23 年度柏市内大学図書館合同企画展

○資料展（10 月 17 日～29 日）

「関東大震災と白樺派」

柏校舎図書館 3 階法人資料室

○講演会（10 月 29 日）

「関東大震災と『白樺』」 本学准教授 瀧田浩

柏校舎 1 号館 205 教室

## 2. 大学（学部・大学院）

### （1）施設・設備の整備

#### ①九段キャンパスの整備

大学機能の九段集約のため、九段校舎 1 号館に情報センター機能を整備したほか、隣地ビルの借用により九段校舎別館として学生の居住スペースや図書閲覧スペースなどの利用環境を整備した。また、電力消費抑制、省エネルギーのため、照明機器の自動点滅装置の設置、遮熱フィルムやブラインドの設置により遮熱・採光対策を実施した。

#### ②柏キャンパスの整備

柏キャンパスでは、消防設備の改修、図書館書架の耐震補強や空調システムの整備等必要な保守修繕のほか、1 号館および体育館の冷水機取替更新や学生食堂厨房機器の交換を行った。

#### ③情報システムの整備

大学の九段集約に伴い、情報ネットワークの基幹システム、パソコン教室、インターネットルームなど教育系情報ネットワークシステムの整備を実施している。また、パソコン教室の増設に対応するためネットワーク回線の通信速度の増速などを行った。

### （2）教育・研究の推進、環境の整備

#### ①「日本漢文教育研究プログラム」

平成 16 年度に採択された 21 世紀 COE プログラムは平成 21 年 3 月に 5 年間の研究支援期間が終了し、「日本漢文教育研究プログラム」として引き続き COE の事業を推進しており、これまで、漢文文献資料の調査・収集とデータベース化、情報公開、国際シンポジウムや海外研究者の招聘による講演会・公開講座・講習会の開催など、広範で活発な研究教育活動を行い、人材育成にも力を注いでいる。本年度は、海外での日本漢文講座を浙江工商大学日本語文化学院（中国・9 月 19 日～24 日）、エドヴェシュ・ローランド大学（ハンガリー・9 月 19 日～24 日）、カ・フォスカリ大学（イタリア・11 月 28 日～12 月 2 日、3 月 13 日～14 日）、チュラロンコーン大学（タイ・12 月 26 日～29 日、2 月 8 日～9 日）などヨーロッパ、アジア諸国を中心に海外で漢文講座を展開し、インターネットによる講座も行っている。

公開講座

特別講座

「江戸の漢文」月曜 前期 13 回・後期 15 回

「江戸の漢詩」木曜 前期 5 回・後期 7 回

演習講座

「漢籍書誌学」水曜 前期 13 回・後期 15 回

「古文書解読講座」火曜 前期 13 回・後期 15 回

『中世随筆』の研究 水曜 前期 13 回・後期 15 回

集中講座

「無刊記本の対処と分類」7 月 9 日・16 日

『本朝続文粹』を読む 12 月 3 日・10 日

<国際学術シンポジウム>



「東アジアにおける漢文学の研究—その回顧と展望—」(10月29日～30日)

会場：浙江工商大学(中国) 参加者：70人

<刊行物>

「雙松通説」第15号

「日本漢文資料による日本像構築の国際的研究」

日本漢文学研究 第7号

日本漢詩集書誌解題

## ②教員免許状更新講習の実施

教育職員免許法の改正に基づき、平成21年度より教員免許更新制度が導入された。これに伴い、本学卒業生教員をはじめ多くの教員を対象に免許状更新講習を開設し、本年度は8月16日～20日の日程で、教員として必要な最新の知識技能の提供や生徒理解に基づく生徒支援と生徒指導、現代文・古典・書道の教材や指導法などを主な内容として実施した。

## ③海外協定校への相互訪問等

協定校との関係をより堅固なものとするため、教職員の定期的な相互派遣を行っている。本年度は中国・北京大学歴史学系より王忠立教授が11月27日～12月2日の日程で本学に来訪され、講演会、教員交流が行われた。また、本学からは江藤茂博文学部教授が中国・北京大学を3月26日～31日の日程で表敬訪問した。

## ④入学前教育・初年次教育の実施

新入生のモチベーションを高め、教育効果をより確かなものとするため、文学部・国際政治経済学部両学部においてAO入試・推薦入試の合格者に対し「入学前教育」を、入学後の新入生に対し学部ごとの「初年次教育」の実施や講演会などを開催した。

## ⑤シンポジウム・講演会・展示会等の開催

本年度も国文学などの各種シンポジウムを開催し、本学の教育研究成果を学外へ広くアピールすると共に学内の活性化を図っている。また、図書館および大学資料展示室では年間を通して各種企画展を開催している。

### ■第1回二松学舎大学学術文化講演会(9月3日)

会場：ホテルニューオータニ長岡 参加者：82人

「物語化する都市空間—新潟長岡の文学・映像・観光へ—」本学教授 江藤茂博

『雲荘詩存』について—入澤達吉博士の漢詩— 本学名誉教授 佐藤保

### ■文学部シンポジウム

「言葉・歌・表現～たしかな批評をへて継承される革新性～」(10月29日)

会場：九段校舎1号館中洲記念講堂 参加者：170人

### ■東アジア学術総合研究所ワークショップ

「源平の時代を視る—二松学舎大学附属図書館所蔵の奈良絵本『保元物語』『平治物語』を中心に—」(2月25日)

会場：九段校舎1号館401教室 参加者：130人

### ■全国漢詩コンクールの開催(大学生・高校生対象)応募総数：462件

高校生作詩部門の部(最優秀賞1件 優秀賞2件 佳作5件 入選5件)

大学生作詩部門の部(最優秀賞1件 優秀賞2件 佳作5件 入選5件)

高校生鑑賞文部門(最優秀賞1件 優秀賞2件 佳作5件 入選5件)

団体奨励賞(2校)

### ■ホームカミングデー(大学・九段校舎 11月3日)

懇親会 参加者：162人、卒業生作品展(11月2日～4日)

### ■国際政治経済学部設立20周年記念卒業生交流会(大学・九段校舎 11月26日)

参加者：150人

## ⑥図書館の充実等

附属図書館では、オンラインデータベースや電子ジャーナル、CD/DVD-ROMのほかライブラリーサーバーの導入により、九段・柏の両キャンパスからデジタルデータの利用が可能となるなど利便性の高い情報利用環境を整備している。また、蔵書の充実を図ると共に本学所蔵貴重資料のマイクロフィルム化及びデジタル化、紀要・学術雑誌のデータベース化、法人資料のデジタル化を年次計画で実施している。

柏キャンパスでは、東葛地区大学図書館コンソーシアム「TULC (Tokatsu University Library Consortium)」に加盟しており、千葉県東葛地区の常磐線沿線にある大学図書館の相互利用および情報の交換を目的として発足したもので、二松学舎大学（柏）、中央学院大学、江戸川大学、麗澤大学、東洋学園大学、日本橋学館大学、川村学園女子大学の7つの大学図書館で構成されており、加盟大学の学生と教職員は、それぞれの図書館を相互利用することができる。

年間4回発行している「季報」は図書館のホームページからも閲覧・ダウンロードが可能となっている。

## ⑦大学の授業に関するアンケートの実施

大学の自己点検・評価活動の一環として、学生による授業アンケートを実施した。大学の授業に対する意識調査・分析により、大学全体の今後の教育改革に役立てる。

## ⑧学術研究支援等の充実

本学では、本学卒業生教員の教育実践支援、教職志望の学生への更なる支援と併せて教育実践に関する総合的な研究調査及び研修等を行うことで広く教育界に貢献することを目的に「教職支援センター」を設置している。同センターでは、本学の卒業教員とのネットワーク強化、求人情報の提供・紹介、論文添削・模擬面接・個別進路相談、教員採用試験合格講座などにより、教員志望学生の支援を実施している。また、東アジア学術総合研究所では、ワークショップの開催など共同研究プロジェクトの推進および研究成果報告書の刊行を支援している。

柏キャンパスでは、平成23年度柏市国語教育研修講座を柏市教職員を対象に8月26日（金）の午前に小学校部会を、午後に中学校部会を開催した。

## <刊行物>

「二松学舎大学附属図書館 季報」第80号～第82号 二松学舎大学附属図書館

「教職支援センターだより」第4号 二松学舎大学教職支援センター

「二松学舎大学国際政経論集」第18号 二松学舎大学国際政治経済学部

「二松学舎大学論集」第55号 二松学舎大学文学部

「二松学舎大学東アジア学術総合研究所集刊」第42集 二松学舎大学東アジア学術総合研究所

「二松」第26集 二松学舎大学大学院文学研究科

「国際交流」第28号～第29号 二松学舎大学国際交流センター

「二松学舎新聞」第53号～第55号 学校法人二松学舎

「水木かおる記念文庫だより」第2号～第3号 二松学舎大学附属図書館（柏）

「學」第29号～第31号 学校法人二松学舎 等

## (3) 学生への支援

### ①奨学金制度の拡充

学生生徒の就学意欲の維持、退学者の減少や学生生徒募集のためにも、奨学金制度の拡充が重要であり、学校別に奨学金制度を整理し、給付のほか貸与奨学金制度を設けている。また、奨学金基金として受け入れた寄付金は、毎年度奨学金の基金である第3号基本金に組み入れ増額することとしている。本年度は、東日本大震災並びに福島第一原子力発電所事故に伴う被災特別奨学生、被災した入学者に対する授業料等の減免について規定化し実施した。

### ②就職支援・留学生支援

キャリアセンターでは、4年間のキャリア教育プログラムを構築し、1年次から正課授業との

連携およびサポート・フォローを行っている。学生の就職活動を支援するため、入学直後のガイダンス、就職対策として自己発見（職業適性）検査の実施、就職筆記対策、数学特訓講座、公務員試験対策講座の開講、学内合同企業説明会、企業研究セミナーや業界セミナーの開催、このほか「キャリアデザイン講座」「3日間の社長弟子入りプロジェクト」を、教職支援センターでは「教員採用試験合格講座」などの特別講座を行った。

国際交流センターでは、短期海外語学研修として8月9日～29日の日程で中国語・歴史文化研修（中国・北京大学歴史学系）の実施、その他海外協定校への派遣留学生および海外協定校からの交換留学生に対する就学支援、その他国際交流イベント（研修会、留学生スピーチコンテスト等）を実施した。

#### （4）社会貢献

##### ■ボランティア活動に関する講演会

「災害ボランティア活動を考えている学生へ」（4月26日、7月21日）

本学非常勤講師・NPO法人笑顔せたがや事務局長 山崎富一

会場：九段校舎1号館

##### ■平成23年度柏市国語教育研修講座

場所：柏校舎1号館205教室（8月26日）

「古文を楽しもうー『枕草子』から古典世界を垣間見るー」本学准教授 原由来恵

参加者：柏市小学校教員161人

「誰の動作？誰の気持ち？ー古典和歌の解釈の揺れー」本学准教授 五月女肇志

参加者：柏市中学校教員57人

##### ■千葉県柏市との協定について

本学では、災害時における市民の避難施設提供を目的とした、災害時における施設の利用に関する協定を柏市と締結しているが、今年度は「災害時における飲料水供給に関する協定」を締結した。柏市内で災害が発生した際、柏市の要請により給水施設の使用、飲料水供給の協力をを行う。

#### （5）学生募集対策

少子化が進む中で、文学部・国際政治経済学部とも学生募集広報活動を見直し、多方面から入学者選抜実施方法（入試種別・科目・日程等）を検討し、地方での大学説明会や学生募集広報、入学試験を実施した。また、関東地区の志願者獲得の精度を上げるべく、東京、千葉、埼玉、神奈川、茨城の各地区別に学生募集特別委員を配置し学生募集対策の強化を図っている。

### 3. 附属高等学校

#### （1）中・長期将来計画の策定と段階的实施

少子化を背景に高等学校を巡る環境が大きく変化しており、生徒募集、教育目標、指導目標、進学対応等附属高等学校を抜本的に見直すための中・長期計画（第1期から第4期までの10年計画）により改革を推進している。本年度は計画の第2期として、引き続き進路指導の充実及び進学実績の引き上げ、クラブ活動の活性化、生活指導の重視等を各種改善策に取り組んでいる。

#### （2）学習環境の整備

九段校舎では、図書室蔵書の購入、パソコン教室の機器のリプレースを実施、掲示板の増設や体育館女子更衣室の改修工事を実施し、柏キャンパスでは柏合宿所の改修工事のほか野球部後援会寄付事業として柏運動場トイレのリニューアル工事を実施し、学習環境を整備した。

#### （3）生徒募集対策

ホームページでの動画による学校紹介やマンガ・イラストによる「二松生物語」など効果的な広報活動を行い、志願者増加および定着化のため中学・塾等訪問スタッフの配置など緻密な募集

対策を行った。生徒・保護者対象説明会や個別相談会のほか、中学校教員・塾対象の学校説明会をそれぞれ実施した。

(4) スクールカウンセラーの配置

生徒の悩みや保護者の相談に対応するため、専門的知識を有するスクールカウンセラーを校内に配置し、教育相談や学園生活のサポートなどメンタルケアを行っている。

(5) チューター制の導入

進路指導の充実発展と生徒の進路意識の向上を目的に、チューター制（課外活動講師制）を導入した。他大学の学生をチューターに迎え、週2回、放課後に受験勉強や大学生活など生徒の相談に応じている。

(6) 学校運営協議会の開催

有識者及び近隣地域住民より附属高等学校に対する意見を聴取し、「学校評価」及び同校の経営・運営に資するため、学校運営協議会を開催した。

(7) 校外学習

- ・英語合宿：新潟県南魚沼郡湯沢町（7月15日～18日）3年生
- ・勉強合宿：長野県長野市（7月27日～30日）2年生、（8月19日～22日）1年生

(8) 国際交流

- ・中国語学研修：附属柏高校と合同実施（北京8月18日～25日）
- ・イタリア料理教室：イタリア文化会館へ施設を貸し出して実施、本校生徒も参加（8月11日、25日）
- ・日米親善野球遠征：東京都高等学校野球連盟主催、選抜選手20名のうち本校生徒2名参加（ロサンゼルス12月26日～28日）

(9) 外部講師による補助講習会（「まなびや」）の実施

進学実績の向上を図るため、予備校講師等による補助講習を実施した。

<刊行物>

「二松だより」第96号～第98号 附属高等学校二松だより編集委員会

『文芸二松』第27号 附属高等学校文芸二松編集委員会

#### 4. 附属柏中学校・高等学校

(1) 附属柏中学校開校・新体育館落成記念式典

中学校の開校・新体育館落成記念式典を新体育館で、祝賀会を三井ガーデンホテル柏で平成23年6月15日に開催した。式典には来賓、生徒、教職員等914人が参加した。

(2) 中・長期計画の策定と段階的实施

教科・進路・生徒の各指導計画、施設設備の充実、入学定員の見直し、マーケティングの実施やブランドイメージの構築など中・長期計画を策定するためのプロジェクトチームにより具体案を作成し、段階的に実施している。

(3) カリキュラムの充実

附属柏高校では、新カリキュラムにより教育体系の更なる充実を図っている。また、一人ひとりの学力を確実なものとするため補習や特別講習授業を実施している。さらに受験に向けて、大手予備校のひとつである駿台予備校と連携し、様々な受験情報を提供し、模試・衛星授業などを通してより実践的な受験対策を行っている。

(4) 教育・学習環境の整備

附属柏高等学校では、校名変更に伴う看板等変更工事、教員室PCおよびパソコン教室の機器のリプレース、防音扉の設置、連絡通路舗装、防犯灯設置、冷水機設置など教育環境の保全工事のほか、父母の会寄付事業として野球グラウンドの照明機器、防護ネット、ハンドボールコート等の照明機器改修工事を実施した。

附属柏中学校では、開校に伴い教員用パソコンを整備し、生徒用机・椅子・ロッカー及び技術家庭・理科・音楽等の教具、図書等を年次計画により購入した。

#### (5) 生徒募集対策

受験生向けの学校案内パンフレットのリニューアルやホームページでの動画による学校紹介、保護者・受験生対象の学校見学会のほか、授業公開や体験授業を行っている。入試広報部を中心に、広報活動、中学・塾等訪問スタッフの配置など緻密な募集対策を実施した。

#### (6) スクールカウンセラーの配置

生徒の悩みや保護者の相談に対応するため、専門的知識を有するスクールカウンセラーを校内に配置し、教育相談や学園生活のサポートなどメンタルケアを行っている。

#### (7) 国際交流

附属柏高校1年生と二松学舎大学の留学生（中国、台湾、マレーシア、オーストラリア）との交歓交流会を開催（11月24日）し、留学生の母国紹介や意見交換などの異文化交流を行った。

#### (8) 公開講座

『論語』、『十八史略』 二松学舎舎友 録田勲

6月、10月、11月の火曜 全10回

<刊行物>

「双松」第39号 附属柏高等学校双松編集委員会

### III. 財務の概要

#### 1. 施設設備の整備

大学では、九段校舎西側窓の遮光化、九段集約に伴う九段校舎別館（日本生命三番町ビル1階）の整備（間仕切、空調工事）、図書館書架耐震補強などを実施し、情報化機能拡充のため九段1号館6階の改修（情報センター）やLAN回線の改修工事等を行った。附属高等学校では、掲示板の増設、体育館更衣室の棚の増設、附属柏中学・高等学校では、校旗・校名看板等の整備改修、音響機器の整備、緊急メール配信サービスの導入等を実施し、両附属高等学校でパソコン教室等の機器およびソフトウェアなど情報ネットワーク基幹システムのリプレースを実施した。

また、3月11日に発生した東日本大震災により校舎の一部が破損し大学柏校舎・附属高校・附属柏高校で修繕工事を、台風被害による大学柏校舎1号館屋根の修繕工事をそれぞれ実施した。

#### 2. 財務改革の推進

##### (1) 資金の効率的運用

運用に当たり、資産運用リスク管理体制を構築し、これに基づき慎重な運用を行い運用収入を確保した。

##### (2) 奨学金制度の充実と第3号基本金の増額

大学・附属高校・附属柏高校・附属柏中学校別に奨学金制度を整理し、奨学金制度のさらなる充実のため、当年度奨学基金として受け入れた寄付金は、毎年度奨学金の基金である第3号基本金に組み入れ、増額することとしている。

##### (3) 恒常的な募金活動

本法人では二松学舎教育研究振興資金の募金活動を恒常的に行っている。平成23年度には総額約3千万円のご寄付をいただき、前年度からの繰越金と合わせて東日本大震災の被災学生への支援金（授業料等の減免）の一部とし、また、奨学金の基金として第3号基本金に組み入れたほか残りの資金を平成24年度に繰り越した。

##### (4) 事業会社の事業展開

本法人出資の事業会社である二松学舎サービス(株)は順調に事業を展開しており、本法人の業務

の効率化や経費削減等に寄与している。当年度、同社からは1,500万円の寄付があった。

(5) 格付けの取得

格付機関（㈱格付投資情報センター（R&I社））による法人の発行体格付評価を受け、本年度も引き続き「A -」（シングルAマイナス）の格付けを維持した。

3. 資金収支計算書（別紙1）

4. 消費収支計算書（別紙2）

5. 貸借対照表（別紙3）

6. 財産目録（別紙4）

7. 主な財務比率（別紙5）

## 資金収支計算書

平成23年4月1日から  
平成24年3月31日まで

(単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	3,686,042,000	3,733,620,300	△ 47,578,300
手数料収入	123,234,000	122,912,785	321,215
寄付金収入	56,946,000	62,715,082	△ 5,769,082
補助金収入	774,119,000	781,893,441	△ 7,774,441
国庫補助金収入	233,334,000	240,548,000	△ 7,214,000
地方公共団体補助金収入	540,785,000	541,345,441	△ 560,441
資産運用収入	92,747,000	98,021,868	△ 5,274,868
資産売却収入	407,681,000	1,063,377,399	△ 655,696,399
事業収入	2,788,000	2,939,574	△ 151,574
雑収入	188,368,000	156,790,274	31,577,726
借入金等収入	0	1,000,000	△ 1,000,000
前受金収入	932,931,000	786,833,450	146,097,550
その他の収入	925,972,000	1,117,987,276	△ 192,015,276
資金収入調整勘定	△ 820,706,000	△ 849,952,525	29,246,525
前年度繰越支払資金	2,652,215,906	2,652,215,906	0
収入の部合計	9,022,337,906	9,730,354,830	△ 708,016,924
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	2,789,956,000	2,802,330,307	△ 12,374,307
教育研究経費支出	918,155,000	881,278,830	36,876,170
管理経費支出	374,551,000	349,133,046	25,417,954
借入金等利息支出	44,425,000	44,424,657	343
借入金等返済支出	250,000,000	251,600,000	△ 1,600,000
施設関係支出	15,906,000	15,110,760	795,240
設備関係支出	123,540,000	113,546,509	9,993,491
資産運用支出	700,989,000	1,470,593,839	△ 769,604,839
その他の支出	550,910,000	515,428,646	35,481,354
予備費	( 0 ) 0		0
資金支出調整勘定	△ 306,743,000	△ 161,730,651	△ 145,012,349
次年度繰越支払資金	3,560,648,906	3,448,638,887	112,010,019
支出の部合計	9,022,337,906	9,730,354,830	△ 708,016,924

## 消費収支計算書

平成23年4月1日から  
平成24年3月31日まで

(単位 円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	3,686,042,000	3,733,620,300	△ 47,578,300
手数料	123,234,000	122,912,785	321,215
寄付金	65,391,000	74,074,002	△ 8,683,002
補助金	774,119,000	781,893,441	△ 7,774,441
国庫補助金	233,334,000	240,548,000	△ 7,214,000
地方公共団体補助金	540,785,000	541,345,441	△ 560,441
資産運用収入	92,747,000	98,021,868	△ 5,274,868
資産売却差額	7,038,000	7,046,183	△ 8,183
事業収入	2,788,000	2,939,574	△ 151,574
雑収入	188,368,000	156,790,274	31,577,726
帰属収入合計	4,939,727,000	4,977,298,427	△ 37,571,427
基本金組入額	△ 714,557,000	△ 712,815,869	△ 1,741,131
消費収入の部合計	4,225,170,000	4,264,482,558	△ 39,312,558
消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	2,770,424,000	2,774,144,372	△ 3,720,372
教育研究経費	1,433,545,000	1,395,438,434	38,106,566
管理経費	400,419,000	374,961,094	25,457,906
借入金等利息	44,425,000	44,424,657	343
資産処分差額	4,165,000	376,748,420	△ 372,583,420
徴収不能引当金繰入額	8,885,000	4,135,000	4,750,000
予備費	( 0 ) 0		0
消費支出の部合計	4,661,863,000	4,969,851,977	△ 307,988,977
当年度消費支出超過額	△ 436,693,000	△ 705,369,419	
前年度繰越消費収入超過額	906,876,692	906,876,692	
翌年度繰越消費収入超過額	470,183,692	201,507,273	



## 貸借対照表

平成24年3月31日

(単位 円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	21,052,344,331	21,909,773,808	△ 857,429,477
有形固定資産	16,435,999,381	16,836,139,934	△ 400,140,553
土地	3,959,266,520	3,959,266,520	0
建物	10,118,285,137	10,516,396,868	△ 398,111,731
その他の有形固定資産	2,358,447,724	2,360,476,546	△ 2,028,822
その他の固定資産	4,616,344,950	5,073,633,874	△ 457,288,924
流動資産	5,559,807,045	5,241,420,412	318,386,633
現金預金	3,448,638,887	2,652,215,906	796,422,981
その他の流動資産	2,111,168,158	2,589,204,506	△ 478,036,348
資産の部合計	26,612,151,376	27,151,194,220	△ 539,042,844
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	3,251,250,144	3,519,280,190	△ 268,030,046
長期借入金	2,051,600,000	2,302,400,000	△ 250,800,000
その他の固定負債	1,199,650,144	1,216,880,190	△ 17,230,046
流動負債	1,339,734,993	1,618,194,241	△ 278,459,248
短期借入金	251,800,000	251,600,000	200,000
その他の流動負債	1,087,934,993	1,366,594,241	△ 278,659,248
負債の部合計	4,590,985,137	5,137,474,431	△ 546,489,294
基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	21,060,622,966	20,348,307,097	712,315,869
第2号基本金	0	0	0
第3号基本金	456,036,000	455,536,000	500,000
第4号基本金	303,000,000	303,000,000	0
基本金の部合計	21,819,658,966	21,106,843,097	712,815,869
消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費収入超過額	201,507,273	906,876,692	△ 705,369,419
消費収支差額の部合計	201,507,273	906,876,692	△ 705,369,419
科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部、消費収支差額の部合計	26,612,151,376	27,151,194,220	△ 539,042,844

## 財 産 目 録

<b>I 資産総額</b>		26,612,151,376 円
内 基本財産		16,446,101,721 円
運用財産		10,166,049,655 円
<b>II 負債総額</b>		4,590,985,137 円
<b>III 正味財産</b>		22,021,166,239 円

区 分	金 額
資産額	
1 基本財産	
土地	121,750.21 m <sup>2</sup> 3,959,266,520 円
建物	56,662.21 m <sup>2</sup> 10,118,285,137 円
図書	369,162 冊 1,926,647,078 円
教具・校具・備品	17,884 点 280,427,389 円
その他	161,475,597 円
2 運用財産	
現金預金	3,448,638,887 円
その他	6,717,410,768 円
資産総額	26,612,151,376 円
負債額	
1 固定負債	
長期借入金	2,051,600,000 円
その他	1,199,650,144 円
2 流動負債	
短期借入金	251,800,000 円
その他	1,087,934,993 円
負債総額	4,590,985,137 円
正味財産(資産総額－負債総額)	22,021,166,239 円

## 主な財務比率

## 1. 消費収支計算表関係比率

(%)

比率	計算式	評価の目安	本学(学校法人全体)					全国平均
			19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	22年度
人件費比率	人件費 帰属収入	▼	51.5	53.5	52.2	56.9	55.7	52.4
人件費依存率	人件費 学生生徒等納付金	▼	75.4	76.9	72.0	72.2	74.3	95.3
教育研究経費比率	教育研究経費 帰属収入	△	25.7	26.4	29.0	29.1	28.0	34.4
管理経費比率	管理経費 帰属収入	▼	8.7	8.3	8.9	7.9	7.5	8.2
借入金等利息比率	借入金等利息 帰属収入	▼	0.9	0.9	0.9	0.8	0.9	0.3
帰属収支差額比率	帰属収入-消費支出 帰属収入	△	13.0	9.5	1.9	-1.5	0.1	2.8
消費収支比率	消費支出 消費収入	▼	128.6	119.5	120.5	110.9	116.5	109.3
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 帰属収入	~	68.3	69.6	72.5	78.8	75.0	54.9
寄付金比率	寄付金 帰属収入	△	1.7	1.0	1.2	1.5	1.5	1.4
補助金比率	補助金 帰属収入	△	16.1	18.2	20.0	11.9	15.7	12.1
基本金組入率	基本金組入額 帰属収入	△	32.4	24.3	18.6	8.5	14.3	11.1
減価償却費比率	減価償却額 消費支出	~	8.0	7.8	9.5	11.0	10.9	10.0

## 2. 貸借対照表関係比率

(%)

比率	計算式	評価の目安	本学(法人全体)					全国平均
			19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	22年度
固定資産構成比率	固定資産 総資産	▼	89.8	88.6	81.6	80.7	79.1	84.4
流動資産構成比率	流動資産 総資産	△	10.2	11.4	18.4	19.3	20.9	15.6
固定負債構成比率	固定負債 総資金	▼	14.2	13.0	12.2	13.0	12.2	7.9
流動負債構成比率	流動負債 総資金	▼	5.9	5.7	5.7	6.0	5.0	5.2
自己資金構成比率	自己資金 総資金	△	79.9	81.3	82.1	81.1	82.7	87.0
内部留保資産比率	運用資産-総負債 総資産	△	25.9	24.9	20.8	19.1	21.0	25.3
運用資産余裕比率	運用資産-外部負債 消費支出	△	1.9	1.8	1.5	1.5	1.5	1.5
消費収支差額構成比率	消費収支差額 総資金	△	11.3	8.3	5.1	3.3	0.8	-11.6
固定比率	固定資産 自己資金	▼	112.3	109.0	99.3	99.5	95.6	97.1
固定長期適合率	固定資産 自己資金+固定負債	▼	95.4	94.0	86.5	85.8	83.3	89.0
流動比率	流動資産 流動負債	△	173.8	198.7	324.9	323.9	415.0	301.6
総負債比率	総負債 総資産	▼	20.1	18.7	17.9	18.9	17.3	13.0
負債比率	総負債 自己資金	▼	25.1	23.1	21.7	23.3	20.8	15.0
前受金保有率	現金預金 前受金	△	139.3	185.0	238.6	376.0	436.5	401.4
退職給与引当預金率	退職給与引当特定資産 退職給与引当金	△	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	52.8
基本金比率	基本金 基本金要組入額	△	86.8	88.5	89.7	88.1	90.6	97.0
減価償却比率	減価償却累計額 減価償却資産取得額	~	36.2	37.6	36.0	36.6	39.4	46.2

注) 「全国平均」は日本私立学校振興・共済事業団の集計による学生生徒数3千~5千人の107大学法人の平均を示す。

「評価の目安(「▼」低い値がよい、「△」高い値がよい、「~」どちらとも言えない)」は日本私立学校振興・共済事業団の資料による。減価償却比率は図書を除く。

## 監査報告書

平成24年5月24日

学校法人 二松学舎  
理事会 御中  
評議員会 御中

学校法人 二松学舎

監事 溝田 泰夫 

私は、学校法人二松学舎の監事として、私立学校法第37条第3項及び学校法人二松学舎寄附行為第11条の規定に基づいて、会計帳簿の実査等を行い、また理事会その他の会議に出席し業務の報告を聴取する等して、学校法人二松学舎の平成23年度（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）の業務及び財産の状況について監査を行いました。

監査の結果、私は財産目録及び計算書類（資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表並びに付属明細表）は学校法人会計基準（昭和46年文部省令第18号）に準拠しており、学校法人二松学舎の平成24年3月31日現在の財産状態及び同日をもって終了する会計年度の経営状況を適正に表示しているものと認めました。また、学校法人二松学舎の業務及び財産に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを確認しました。

以上